

エコステーションだより

17

町で整備を進めているエコステーション。
今月号は、浅麓地域ごみ処理総合検討委員会から
理事者会議へ提言された可燃ごみの処理方法についてお知らせします。

総合検討委員会が可燃ごみの処理方法について提言をしました

浅麓地域ごみ処理総合検討委員会は、10月27日に開催した第12回検討委員会で、小諸市・軽井沢町・御代田町からなる浅麓地域で、可燃ごみの処理を共同で行う上でどのような処理方法がよいのか、これまでの審議結果をまとめ、小諸市・軽井沢町・御代田町の3市町長からなる理事者会議へ提言書を提出しました。
理事者会議ではこの提言をもとに、今後処理方法を決定していきます。



富所委員長から提言書を受け取る土屋町長

提言書の概要

浅麓地域ごみ処理総合検討委員会では、家庭などから日々出されるごみは行政が責任をもって、安全で安定的に処理していかなければならないというなかで、浅麓地域の一体的な取り組みに向け、可燃ごみの処理方法について、これまでの審議をまとめ、提言したものです。可燃ごみの処理施設を検討していく上での基本方針は次のとおりです。

施設整備のコンセプト

今後整備していく可燃ごみ中間処理施設は、ごみの排出抑制、資源化、適正処理、減量化を進めていくための拠点と位置づけ、次のとおり施設づくりを目指します。

- 1 安全・安心・安定が確保できる施設であること
- 2 経済性を考慮した施設であること
- 3 エネルギーの有効利用など、高い資源化性を持った施設であること

処理するごみ

現在収集している可燃ごみに加え、現在は不燃ごみになっている壊れたポリバケツなどの、容器包装ではないプラスチック類、現在民間事業者へ直接搬入するようお願いしている粗大ごみなど。

可燃ごみの年間処理計画量

処理する量は、減量化・資源化の目標を立てた上で、目標年度の平成22年で14,198トンを年です。

施設規模

夏期にごみが集中することを考慮して規模を算出しました。
◎施設規模 60トン/日(1日24時間連続運転・30トン炉×2基)

プラント排水の無放流化

ごみ処理に伴い発生する排水(ごみピット排水など)は、河川放流せず、施設内で循環再利用する「クローズド方式」を採用すべきです。

処理方式

焼却方式(ストーカ式)
または、
ガス化溶融方式(シャフト式、流動床式)

- 特徴
ストーカ式…専門家の評価が高い、建設費や維持費が比較的安いなど。
ガス化溶融方式…ごみを溶かすので灰などの埋立容量が低く抑えられるなど。

※方式が正式に決定した際に詳しくお知らせします。

今後の施設整備に向けて…委員会からの要望

検討委員会では、“安全・安心・安定”を満たすために、施設周辺に与えるさまざまな影響を軽減し、将来にわたる課題に向き合うことで、住民の不安感を払拭するように配慮すべきと考え、理事者会議においても施設整備の際は以下のことを配慮されるよう要望しました。

- 煙突からの排ガス濃度の連続測定結果を広く公開していくことや、周辺の大気・土壌・地下水質を定期的にモニタリングして影響の有無をチェックしていくことで、より安心な施設を目指していくこと。
- 住民の皆さんに開かれた施設運営を行うために、計画を進める際、住民代表などからなる運営協議会を設置し、施設運営にかかる情報を共有するとともに、課題の解決にあたること。
- 将来、法規制が強化された場合には可及的速やかに対応すること。
- いずれの処理方式を採用しても、処分しなければならないものは必ず発生し、最終処分場の確保は3市町共通の重要な検討課題となること。

※全12項目の要望事項から抜粋して掲載しています。

※提言書は町役場生活環境課窓口で閲覧できます。

浅麓地域ごみ処理総合検討委員会の傍聴を希望する方へ

- 第13回浅麓地域ごみ処理総合検討委員会は、11月27日(月)に開催する予定でしたが延期させていただきます。開催日が決まりましたら、広報やホームページでお知らせします。
- 議事の内容によっては一部傍聴をお断りする場合や、審議持ち越しの場合には資料を回収することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 会場の都合により、傍聴希望者の人数が多い場合には入場制限をさせていただく場合があります。
- 傍聴者への配布資料は1枚20円です。傍聴を申込みの際に、資料の要・不要を申し出てください。

委員会の資料と議事録は、御代田町ホームページに掲載しています。

<http://www.town.miyota.nagano.jp/>

このコーナーに関する問い合わせは…生活環境課 環境施設係 電話(32)3111 内線14・68 まで